

50周年記念山行 針ノ木峠～爺ヶ岳山行報告

【日 程】 8月11日(木)～13日(土)(10日夜発)

【メンバー】 CL 高橋(豊) SL 柘植 鶴田 江橋 (記録)

【山 域】 北アルプス北部

【行動記録】

10日：私とTkさんは20:00佐倉のTkさん宅を出発し事務所でTgさんTrさんと合流し20:50中央道・長野道経由豊科IC改め安曇野IC目指し出発。流石にお盆休みの為渋滞は免れなかった。安曇野ICを下り近くの道の駅池田で軽くいっばいの後2:00仮眠 隣では船橋山の会の人たちがテントを張っていた。

11日：晴れ

【コースタイム】 扇沢駐車場 7:05→大沢小屋 8:30→針ノ木峠テント場 12:30(泊)

5:00起床の後片付け・朝食の後5:40扇沢に向け出発。

扇沢の無料駐車場は既に満車の模様。もう少し下を探そうとトローリーバス乗り場でUターン少し走ったところで右手のチェーンの掛かった駐車場らしき場所に進入する車があり、それに続き進入。前の車は、駐車場の管理担当者だった。ドサクサに紛れ駐車場確保に成功(後から一般車もたくさん入ってきていたので停めてはいけない場所ではなかったようだ)。支度を整え登山口へ向かう。登山口脇のトローリーバス乗り場は観光客でいっぱい。登山口でTkさん撮影で他の3人が横断幕を持ちハイチーズ。



【扇沢登山口にある、針ノ木の先駆者、百瀬慎太郎の名文が刻まれた看板の前にて】

今回のメンバーはおっさん4人、コースも地味コースということで地味山行の開始となった。

天気は最高。針ノ木峠までは高度差1200m弱、約5時間の道のりだ。

道路を何本か横断しながら登山道を進む。大沢小屋からは渡渉が続く、水が冷たく気持ちいい。10:00休憩の後事件発生!

CL Tkさんが足の調子が悪くこれ以上登れないという。已む無くTkさんは下山し残された3人で行くことになった。しかし、行き帰りの足はTk車、我々の下山まで一人で待っていてくれるという。。。

気を取り直し、改めて出発。岩場、鎖場、はしごが続く。私は慣れないテン泊でザックの重さもあり結構登りごたえがあった。

コース途中では今回縦走する山々をすぐ近くに見渡すことができた。先週槍穂縦走帰りの私にはミニ縦走コースのように思えた。軽アイゼンを用意してきたが、今年は針ノ木雪渓に雪は無く軽アイゼンはお荷物で終わってしまった。

12:30テン場到着。北側には明日の縦走コースが一望できる。南側にはは遠くに槍穂も見える。テン場は結構狭い。遅く着たら場所が無かったかもしれない。テン場を確保し、まだ就寝時間までは十分時間があるので、隣の蓮華岳までピストンなどと余計なエネルギーを消費するようなことはせず、Trさんはリッチに生ビール、Tgさんと私は発泡酒で乾杯。

その後テント内で宴会の続き。途中Tkさんに電話が繋がり無事を確認。今夜は車で寝るとのこと。食事をし寝たのは19:00位か?一部記憶が無い・・・ 夜、目覚めトイレへ行きたいがヘッドランプが探せない。しかたなく月明かりを頼りに無事用を足す事ができた。

そういえば今日・明日がペルセウス座流星群のピークと知っていたはずだが、空を見上げるのも忘れていた。



【 針ノ木谷の登り 】



【 崩れ落ちた針ノ木雪渓 】



【 針ノ木峠への急登 】



【 針ノ木峠に到着 】

12日：晴れ／夕方曇り

【コースタイム】 針ノ木峠テント場 6:30⇒針ノ木岳 7:20⇒スバリ岳 8:45⇒赤沢岳 10:45⇒

鳴沢岳 12:00⇒新越乗越山荘 13:00⇒岩小屋沢岳 14:10⇒種池山荘テント場 16:15(泊)

今日も天気は最高。暑くなりそうだ。

7:20 本日の最高峰針ノ木岳に到着。針ノ木岳からは黒部湖といつか行ってみたい剣岳、立山連峰、薬師岳が手が届きそうな距離に見える。感動！アルプスの山々や富士山も見える。横断幕で写真撮影。今回の縦走ではすべての山頂で横断幕撮影を行った。

今回の縦走はガレ場の登り下りの多い道のり。日陰もほとんどなく水の消費量も体力の消耗も多い。赤沢岳を過ぎた辺りからか Tr さんの足取りが重いようだ。

鳴沢岳山頂での横断幕撮影時 TgSL が撮影を頼んだのは関西から還暦祝い山行に来ていた 8 人組の山岳会メンバー。我々と同じペースで進んでいる為これまでのすべてのピークで一緒だ。関西人らしく常に賑やかだ。撮影を頼みポーズをとったのはいいもののカメラを渡していない。。。笑いを取った。

新越乗越山荘では、8 人組は昼食へ。かなりヘタリ気味の Tr さんは冷たいジュースでエネルギー回復を狙う。その後もガレ場の登り下りと直射日光の攻撃は容赦なく続く。岩小屋沢岳へは昼食休憩していた 8 人組より先行することができた。しかし、Tr さんはかなりヘバっている。やっとで立ち上がり横断幕撮影。まだテン場まで 1 時間半から 2 時間掛かる。ガンバレ。

しばらくするとやっと雲が直射日光を遮ってくれたが少し遅かったような。。。何度かの臨時休憩を挟みテン場まであと 30 分ほどのところで、TgSL がテン場が心配なので先に見に行くという。私と Tr さんはゆっくりテン場を目指す。あと 10 分ほどのところで臨時休憩をしていると還暦祝い 8 人組に追い越された。TgSL は Tr さんのザック持ちの応援に戻ってきてくれた。この先テン場までは登りの長い階段だ。

テン場には、TkCL が柏原新道から登ってきていた。テン場は昼頃に到着した TkCL が確保しておいてくれた。我々は、ピーク毎に横断幕撮影をしていたおかげで有名人になっていたらしく TkCL は我々の情報を前もって得ることができたようだ。

テン場で初めての4人での横断幕撮影の後 TkCL の奢りのビールで4人に戻ったお祝いの乾杯！しかし、疲労困憊の Tr さんは大好きなビールを飲めず残念。Tr さんは夕食もとらず就寝。3人は夕食の後 18:30 就寝。



【 針ノ木の幕場から望む遥か槍～穂高 】



【 針ノ木岳山頂 】



【 黒部湖の向こうに立山～劔岳 】



【 赤沢岳山頂 】

13日：朝濃霧&強風/晴れ

【コースタイム】種池山荘テント場 5:55⇒爺ヶ岳 6:50
⇒種池山荘テント場 7:20 (ピストン)

種池山荘テント場 8:15⇒柏原新道登山口 11:00

4:00 起床予定であったが濃霧と強風のため爺ヶ岳ピストンを行うかどうか躊躇する。我々が爺ヶ岳に行かずとも次のチームとはここ種池山荘で繋がる。しかし、折角昨日昇ってきた TkCL はピークを踏まず下山することになってしまう。4:30 に起床しピストン決行となる。しかし、昨日疲労困憊の Tr さんは次の爺ヶ岳～五竜岳チームに参加予定であることもあり留守番することに。テント乾しをやっていてくれた。

朝食の後、私は水だけを持ち、Tk さん、Tg さんもわずかな荷物だけを持ち出発。やはり足取りは軽い。荷物の重さの影響は大きい。ガレ場を登り爺ヶ岳南峰へ。更に爺ヶ岳中峰登頂。濃霧と風は次第に収まり山頂では適度な雲でアルプスと鹿島槍ヶ岳の素晴らしい景色を演出してくれた。Tr さん次週この姿を楽しんで下さいね。横断幕で撮影の後下山。結局山頂での4人の横断幕撮影はできなかった。。。



【 種池で4人が再会 】

テン場に戻り片付けの後下山。Trさんの足取りも問題ないようだ。柏原新道は、登山道が整備され歩きやすいがひたすらの下りだ。先週の槍穂山行の疲労の影響もあるのか、私は荷物を背負った下りで疲労を感じながらなんとかTkCL、Trさんに続く。今日は天気は良いが林の中の木陰歩きのおかげで暑さはそれほど感じない。登ってくる登山者はかなり多い。その度に道を譲り合う。お手軽登山には良いコースかもしれない。

途中また還暦祝い8人組に遭遇。「一人増えてるわ」「こっちは一人減るはずだったのに」と還暦さんに言い笑いを誘う。関西人は面白い。先に行かせてもらう。2回目の休憩時また8人組に追い越された。抜きつ抜かれつだ。途中また追い越した後我々が5分先に登山口到着。お互い別れの挨拶を交わす。

薬師の湯で汗を流した後、食事をし13:50帰葉。中央道は大月―八王子間でいつもの渋滞。二十数キロなので、お盆の影響はそれほどでもないようだ。明日帰葉でなくて良かった。19:30事務所へ到着し、Trさんが干してくれたテントと横断幕を返却し、TgさんTrさんと別れTk家で自分の車に乗換え20:20帰宅。いろいろあったが、おっさん4人の地味山行は無事終了となった。

高橋（付記）

今回、リーダーを引き受けながら、初日の針ノ木雪渓半ばで下肢に違和感を感じ、メンバーへの迷惑を最小限にしたいと途中リタイアを決断。メンバーの同意を得、柘植さんにリーダーをお願いして一人下山し、扇沢の車で一晩過ごした。翌朝復調していたことから、柏原新道を登って種池のテン場で三人と合流、3日目の行動を共にし、爺ヶ岳で記念写真におさまることができたが、リーダーの任を満足に果たせず、メンバーの皆さんに迷惑をかけてしまった。

入会以来、前夜発の仮眠山行スタイルに身体がいまだ慣れず、情けない限りだが、劣化した足を何とかだましだまし登山を続けて行こうと思っている。



【 来し方を振り返る 】



【 朝の鹿島槍 】



【 爺ヶ岳山頂 】



【 テングルマの先に針ノ木岳(中央)を望む 】